

馬場川通りアーバンデザインプロジェクト

第2期準備委員会「安心チーム」

企画名：多様なひとが過ごしやすい街を目指して

～ダイバーシティ～

活動報告書

開催日時：2022年5月29日(日) 午後1時～午後3時頃

提出日：2022年5月30日(月)

作成者：

群馬医療福祉大学リハビリテーション学部

作業療法専攻3年

サークル「つむぎの広場」所属

吉崎彩りあ、小林明日香

1. 活動の流れ

- ①中央通り商店街と馬場川通りの十字路に集合(午後1時)
- ②挨拶、自己紹介
- ③フレッセイ前まで歩きながら危険箇所の確認
- ④「馬場川通りアーバンデザインプロジェクト」の説明・アンケートへの回答
- ⑤道に戻り「喫茶マルカ」にて飲食、意見交換
- ⑥解散(午後3時過ぎ)

2. 安全に関する意見

(1)視覚障害者

- ・点字ブロックが少ない(障害物があると途中で点字ブロックが途切れる場合も考えられる)
- ・歩道の中心に自転車を置かれると困る
- ・歩道小さな段差が少ない
 - 地面が平らすぎるとまっすぐ歩いているか分からなくなる(特に夜)
- ・歩道が狭い
- ・“元気 21 北”交差点の点字ブロックが繋がっておらず意味がない(ここから歩道だということを知らせる意味はある)
- ・点字ブロックは雨の日に滑る

(2)聴覚障害者

- ・車道からの音がわからない
- 車が来ているか、車に迷惑をかけているのかもわからない
- ・時間帯で歩行者天国化すると安心に楽しめる
- 人通りの多い時間(昼)、月1や週1でも良い

(3)子ども、親

- ・子供と手をつないで歩くには歩道が狭い。例えば、大人：こども=1：2の場合はこどもに車道側を歩かせなくてはならず危ない。

(4)学生

- ・紫外線アレルギーがあるため、日陰の場所を増やしてほしい

(5)全体

- ・群銀前を通る車のスピードが速い
 - プランターを置いて物理的にスピードを落としてもらう工夫
 - ⇔その一瞬だけで確認後またスピードを出してしまう
 - わざと道をガタガタにしてみる(車椅子利用者は移動困難になる)

→人形を設置して、たまに警察が立つようにすると良いのではないか

3. 馬場川通りにあったら楽しめるもの

(1)視覚障害者

- ・音声ガイド(多国語?)
- お店の説明(バリアフリーの情報を含めて)、通り沿いに植えられた木や花の説明
- ・ヘルプを呼べるシステムを設ける
- ・IC タグ・QR コードのようなものを置き読み取る
- ・点字を日常使える人は1割ほどである、努力しなければ読めない
⇨音声ガイドが良い
- ・人が通過した時にセンサーで情報を伝える(音楽を流すだけより意味がある)
- ・pdf ファイルは視覚障害者の敵である
⇨テキスト版が良い。Word、Excel から情報を得やすい。

(2)聴覚障害者

- ・エッジの屋根をつけたらどうか
→晴れの時しか使えなくなるため
天候に左右されず、雨の時でも人気になれると良い
- ・ベンチに屋根をつける
- ・ノスタルジックな通りにしたらどうか
コンセプトを通りごとに変える→子供の勉強にもなる
わざと通りを昔風にする→歩いていて楽しい
- ・通りじゃなくても、休憩場所を「明治」「昭和」などにする
- ・壁の利用(例、アートな壁にする)
- ・色の利用
- ・川をみるほかにも楽しみが欲しい
- ・指差しだけでも伝わるメニュー表の工夫、運ばれてきた品に品名を書いたメモを貼ってわかりやすくする(アイスティーとアイスコーヒーなど)
・「ありがとう」「おいしい」「？」などのちょっとした手話を店員ができると安心して通える
- ・コミュニケーションボードの使用(7年前に使用していた?)
- ・モデルケースを作り他の店舗で共有する
→デモを作ってみんなで共有するのも良い
→障害者への配慮ができていないか抜き打ちテストをしてもおもしろい

(3)子ども、親

- ・子どもの低い目線にも興味を引き、楽しめるものを設置する
- ・パンジーの高さ○

→ もっと低くしても良いかも、会話が弾む

↳ 小さい子どもでものぞき込める高さ

- ・ オムツ替えのスペースや授乳室をもっと清潔にすべき(親はそういったものに敏感)
- ・ オムツ替え・授乳室の場所をわかりやすく表示する
(通りの両端2か所に設置するのも良いと思う)

(4) 車椅子利用者

- ・ 車椅子の情報が少ない
- ・ バリアフリーマップを作成、活用する
- ・ 店前(車道、店の入口)の段差が難しい
- ・ 誰でも楽しめることに関して、積極的に様々な手段で情報発信していく必要がある

(5) 学生

- ・ 新しいお店(カフェ等)が増えてきてはいるが同世代のみんなが知っているかと言えばそういうわけでもない
- ・ アクセスが悪い

(6) 全体

- ・ みんなが楽しめるゲームはどのようなものか? シンプルな方が楽しめる!

→ ボッチャ(視覚障害者△)

→ オセロ(視覚障害者○…白がツルツル、黒がザラザラ)

→ なごなごいくつゲーム(?)…基石をつかんで数を当てる

→ 人生ゲーム読み上げスタイル、みんなで協力するのもアリ

(視覚障害者は先が見えなくてみんなと同じ楽しみ方ができるかという微妙)

→ オリジナルゲーム…付近の大学などとコラボレーションをして、誰でも楽しめるゲームをつくり、実際に遊んでみる。

3. フレッセイ前-アンケート

- ・ 馬場川通りをどのように楽しむ?

→ 見て楽しむ、味わって楽しむ、触って楽しむ、音を楽しむ、香りを楽しむ

↳ 視覚障害者が選ぶ

- ・ 弱視などであれば視覚障害があっても木漏れ日の雰囲気を楽しむ

◎ やることの継続が大切!